

美祢市発展の功労者を表彰

美祢市功労者表彰は、市の発展のために尽くされ、自治・教育などの分野において他の模範となる成績・業績の優秀な人や社会公共のために多額の寄附をされた人に贈られます。11月4日、第4回目の美祢市功労者表彰式が市役所議事堂で行われ、10名に表彰状及び感謝状が贈られました。受賞された人のご功績を紹介します。



自治功労者

安平次 トキ子氏
(大瀬町)

昭和49年に民生委員・児童委員に就任、以来36年の永きにわたり要援護世帯の救済援助、独居老人世帯の訪問活動に積極的に取り組まれ、地域福祉の増進に尽力され、広く社会福祉に貢献した功績は顕著である。

杉村 龍二氏 (美東町)

平成10年、旧美東町農業委員に当選、以来12年9月の永きにわたり農業の振興に尽力された。

又、平成20年から3年間農地調整部会長を務められ、豊富な知識と卓越した手腕をもって、旧美東町及び美祢市農政の発展に寄与された功績は顕著なものである。

教育功労者

堀井 保法氏 (美東町)

昭和35年小学校助教諭として奉職、以来通算38年の永きにわたり学校教育に携わり、教頭、校長の要職を歴任し、教育の振興に尽力された。

平成11年10月から8年6月

篠田 慶子氏 (伊佐町)

昭和51年4月に薬仙石灰株に入社以来、35年の永きにわたり、受注出荷業務及び在庫管理業務に精励された。

人望が厚く、眞面目な人柄をもつて同僚、後輩の指導も積極的に取り組まれるなど、その功績は誠に顕著であり、他の社員の模範である。

優良勤労者

西 数敏氏 (大瀬町)

昭和45年に株森中産業(社名変更により龍陽興産株式会社)に入社以来、41年の永きにわたり、鉱山業務に精励された。

リーダーシップを遺憾なく発揮され、人材育成にも積極的に取り組むなど、地域の基幹産業の発展に尽力された功績は誠に顕著であり、他の社員の模範である。

多額寄附者

山口美祢農業協同組合
代表理事組合長
弘永 芳朗氏 (大瀬町)

交通安全事故の無いまちづくりに資するため、美祢市に交通安全広報車を寄附された。

喜楽鉱業株
代表取締役
小宮山 雅弘氏
(滋賀県湖南市)

社会公共のため美祢市に200万円を寄附された。

白井 英子氏 (於福町)

社会公共のために美祢市に100万円を寄附された。

若松 泰子氏 (伊佐町)

社会公共のために美祢市に100万円を寄附された。

前列左から篠田慶子氏、杉村龍一氏、村田市長、秋山市議会議長、安平次トキ子氏、堀井保法氏、後列左から弘永芳朗氏、西数敏氏、小宮山雅弘氏（代理・取締役専務）、能勢樹氏、大持逸男氏、表彰式欠席者、白井英子氏、若松泰子氏

問合せ先 総務課
〔08337(52)1111〕

市長と語る未来創造まちづくり座談会結果報告



○開催日等

日 時 10月20日(木) 18時～20時
会 場 厚保公民館大会議室

○出席者

市:市長、副市長、部長級職員、事務局(地域情報課)
参加者:15名

○提案内容

【提案】 被災地の固定資産税評価を見直してはどうか。
生徒数減少に伴い、小・中学校を統廃合してはどうか。
秋芳洞内の危険箇所対策について
東厚保～熊の倉 県道の整備改良について (男性)

【回答】 昨年の豪雨災害により、西厚保地区の土地の評価が下がって評価額は低くなっているのではないかということですが、現地を調査し、法律に基づき適切に評価したいと考えます。

地元の誇り、文化等の伝承の場として、小・中学校を統廃合しないのか、子どもの競争意識を高め、能力向上につなげるため統廃合をするべきか、非常に重要な課題であると考えます。合併後しばらくは、地域の疲弊感が生じないよう統廃合しない方向で進めてきましたが、今後、様々な課題に備えて慎重に検討するとともに、対策を講じるため、現在様々な調査を行っています。

秋芳洞内に一部足下が暗くて危険な箇所があるとのことですが、LEDによる改修工事を行って以前より洞内は明るくなっています。部分的には、そのような危険な箇所もあると思われますので、不備がありましたらご連絡していただければ、出来る限り改善してまいります。

県道については、現状を十分把握していますので、県に強く要望いたします。(市長)

【提案】 桜山、大岩郷などの観光地の景観整備について

特产品的改良、開発に力を入れてはどうか。
市民会館の調理器具を見直し、より多くの調理実習ができる場を提供してはどうか。

農林開発の「筍の水煮」「割りばし」のパッケージの工夫について
美祢西インターチェンジ周辺の開発について (女性)

【回答】 桜山、大岩郷については、定期的に草刈りなどの整備を行っており、今後はボランティアによる草刈り等も考えていますが、地元の人の高齢化により難しい状況です。しかしながら、今後も市が積極的に観光地の景観整備を進めていかなければならぬと思います。

美祢市は、「食」に関するものが非常に弱いと感じています。全国的にも通用する商品を開発する必要があるので、「ふるさと未来創造交付金事業」を活用し、積極的な案を出していただきたいと思います。

調理実習をする場や調理器具については、市民会館の調理場などを早急に調査して、対応していきたいと思います。

「筍の水煮」「割りばし」のパッケージが地味なので、商品を明るいイメージになるような工夫をしてはどうかということについて、現在美祢農林開発が商品化していますが、商品のパッケージ改良等をするには予算的事情から非常に困難な状況です。しかし、今後開発改良が行えるように検討していきたいと考えます。また、購入した特定の商品に対して、パッケージにシールを貼るなどするのは問題ないと思われます。

観光客を美祢市西部・厚保地域にも周遊していただくため、美祢西インターチェンジやJR美祢線厚保駅の活用を検討したいと考えています。(市長)

【提案】 都市計画税の必要性について (男性)

【回答】 都市計画税は目的税であり、都市計画事業又は土地区画整理事業、つまりインフラ整備に要する費用に充てるものです。西厚保地域については、美祢西インターチェンジ、県道下関美祢線沿い、厚保駅周辺の都市計画事業又は土地区画整理事業が行われると想定されていましたが、厳しい財政状況から思うように開発事業が進んでいません。しかし、今後も下水事業(農業集落排水事業)や雨水排水対策事業などの都市計画事業が必要と思われますので、引き続き都市計画税を課税する予定です。なお、都市計画税をいただいている地域においては、優先的に開発事業を進めていきたいと考えています。(市長)

【提案】 旧大嶺高等学校グラウンド跡地にグラウンドゴルフ場を設置してはどうか。 (男性)

【回答】 旧大嶺高等学校敷地は現在も、県が所有管理しています。
同校グラウンド跡地の活用は、市にとって重要な課題であると考えていますので、今後も県と十分協議してまいります。(市長)